

生涯学習センターにかかる答申・報告等の概要

(1) 生涯学習審議会

①答申「町田市における生涯学習の進め方について」(2013)

- ◆市民の生涯学習のイメージの刷新
- ◆生涯学習ニーズの掘り起こし
- ◆行政内の生涯学習との関係強化
- ◆学習と社会の関係強化
- ◆学校支援
- ◆生涯学習センターの役割一新

(協働事業、プロモート機能、市民活動支援、調査・研究機能の確立)

②答申「地域社会の課題に対応する生涯学習のさらなる充実に向けた仕組みについて」

(2016)

- ◆連携・協働を進めるコーディネーター
- ◆生涯学習のコンシェルジュ
- ◆生涯学習センター運営協議会の多角的な議論の場への移行

③答申「今後の生涯学習施策の進め方」(2017)

- ◆ネットワーク型への移行
- ◆地域課題解決型の「学び」
- ◆市民参画型生涯学習
- ◆学習成果の還元

④答申「町田市生涯学習センターに求められる役割について」(2019)

- ◆誰もが学べる環境づくり
- ◆課題解決支援
- ◆すそ野の拡大
- ◆ネットワークづくりの促進

⑤答申「今後の町田市生涯学習センターのあり方について」(2021)

- ◆事業の整理及びリソースの再配分
- ◆デジタル技術の活用と地域の学びの推進
- ◆社会的課題への迅速な対応
- ◆名称の整理

(2) 生涯学習センター運営協議会

①市民大学再構築に関する検討報告書(2016)

- ◆「地域を育てる」学習(社会参加を促す学習)の支援強化

②報告「地域における学習支援—生涯学習センターの役割と機能—」(2018)

- ◆地域における課題解決型学習の支援(脱行政依存)
- ◆地域との連携強化
- ◆社会参加意識の向上
- ◆人材育成

③「市民ニーズに沿った生涯学習センター事業の推進について(中間まとめ)」

(2020)

- ◆市民ニーズを把握する仕組みの見直し
- ◆認知度の向上

◆地域との連携強化

◆情報発信

④「市民ニーズに沿った生涯学習センター事業の推進について（最終報告）」（2022）

◆「学習の機会が十分に得られていない市民」の学習機会保障のための取組の充実

◆市民ニーズを具体化するための住民参加の仕組みの充実

(3) その他

①行政経営改革プラン（2017～21）

◆生涯学習センターの役割の明確化

◆生涯学習センターの効率的・効果的な運営

②事業仕分け・市民参加型事業評価

① 2011年度事業仕分け（公民館：サービス維持・拡大で予算縮減）

◆若年層を含む潜在的ニーズに対応

◆生涯学習センターの設置

◆他機関連携の強化

◆学習相談機能の強化

◆施設利用料の適正化

② 2015年度市民参加型事業評価（生涯学習センター事業）

◆受講者以外の市民ニーズの把握

◆新たな需要の掘り起こし

◆地域展開指標の明確化

◆コストをかけずに事業充実

◆趣味的なものや市民還元できる事業での受益者負担の見直し

③ 2019年度市民参加型事業評価（生涯学習センター事業）

◆認知度の向上

◆図書館等を活かした地域展開

◆行政だけでなく大学、市民、民間事業等皆で担っていく

《キーワード》

(1) 審議会…関係強化・ネットワーク・協働、活動支援・地域課題解決・市民参画、プロモート・コーディネート、誰もが学べる環境づくり（電子化・地域展開）すそ野の拡大

(2) 運 協…地域における課題解決型学習の支援（脱行政依存）、地域との連携強化、社会参加意識の向上、人材育成、市民ニーズの把握、認知度の向上、情報発信

(3) 仕分け…潜在的ニーズに対応、連携強化、学習相談機能強化、施設利用料の適正化、地域展開、コストをかけずに事業充実、事業の受益者負担の見直し、認知度の向上、地域展開、地域・民間との協働

概ね①連携・ネットワークの構築②課題解決型への移行③施設の認知度向上④地域展開の実施⑤電子化の拡充⑥運営コスト見直しに集約される。